



測れば変わる。 センサーから始まる 新しい生活。

貼るだけで、手軽に血糖変動がわかる。
だから、だれでも続けられる。
患者さんの生活を変える測定センサー。



FreeStyle
リブレ


life. to the fullest.®
Abbott

より安心して簡単にFreeStyle **リブレ** をご使用いただくために

FreeStyle **リブレ** 新しい患者さんサポートプログラム

導入指導

導入後ご自宅サポート

導入手順書

患者さん用ガイドブック

自己管理ダイアリー

患者さんサポートサービス

FreeStyle **リブレ ケア**

FreeStyle **リブレ をはじめてご使用される患者さんサポートサービス**

FreeStyle **リブレ ケア**

プログラム内容

使い方や活用ヒントをタイムリーにお届け

FreeStyle **リブレ** ケア通信

専任担当者が使い方をサポート

電話サポート

患者さんにご登録いただくことで、メールで使用方法や活用のヒントなどの情報をタイムリーにお届けしたり、専任担当者が電話で使い方などをサポートします(使用開始より90日間)。

登録方法

登録はがき

WEB サイト

資料、詳細説明などをご要望の際は、Web 展示ページリンクからアンケートページへアクセスしご記入ください



医療従事者のみなさまの指導負担軽減にお役立てください



FreeStyle **リブレ** の活用により、低血糖を増加することなく血糖コントロールを改善し、満足度も上昇することが、日本人2型インスリン療法患者で確認された

SHIFT STUDY

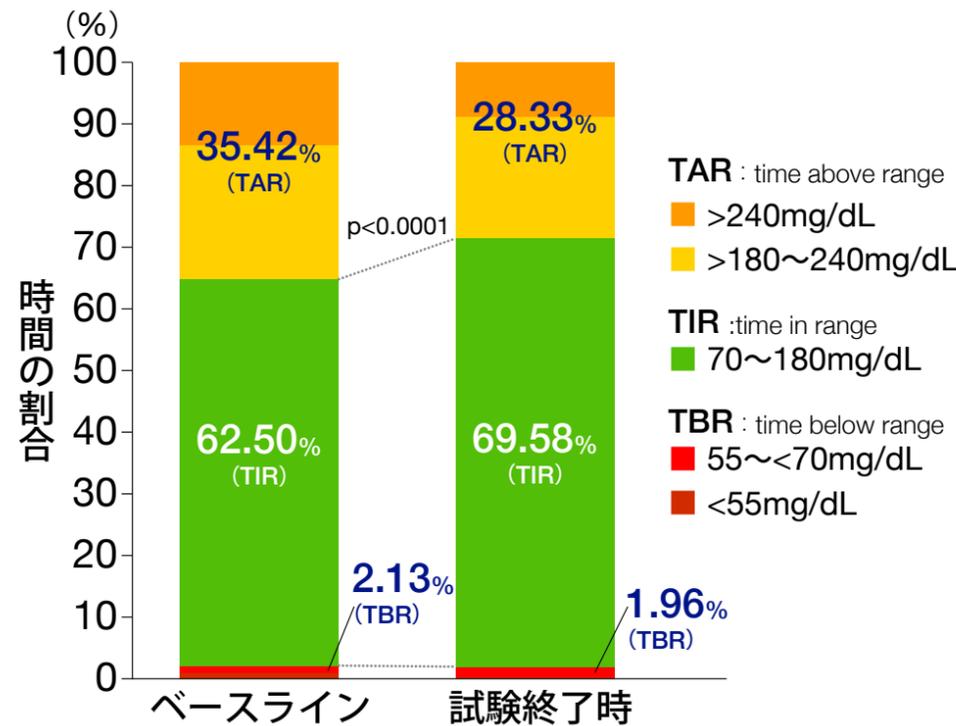
(国内データ:日本人2型インスリン療法患者対象)

推定A1c

ベースライン
7.46%

-0.39%
($p < 0.0001$)

TIR、TAR、TBR



患者満足度(DTSQ)

肯定的な質問のスコアは6項目すべてで有意に増加

治療
満足度

利便性

柔軟性

疾患
理解度

他人に
勧めたい

継続意向

主に患者の行動変容がグルコースコントロール改善につながったと考えられた



SHIFT 試験の
デザイン

インスリン療法中の日本人2型糖尿病患者94例を対象にした多施設共同前向き非盲検試験。最初にグルコース値を表示できないように設定したFreeStyleリブレを2週間装着させてベースライン値とし、その後、11週間にわたってFreeStyleリブレを通常通りに使用させて使用終了前2週間(試験終了時)の値をベースライン値と比較した。

- 主要評価項目:ベースラインと試験終了時(76~90日目)の低血糖(<70mg/dL)の発現時間
- 副次的評価項目:その他の血糖コントロール指標(推定A1c、TIR、TARなど)、日本語版糖尿病治療満足度質問表(DTSQ)を用いた患者満足度

Ogawa W. et al.: Journal of Diabetes Investigation, 2020. doi:10.1111/JDI.13327



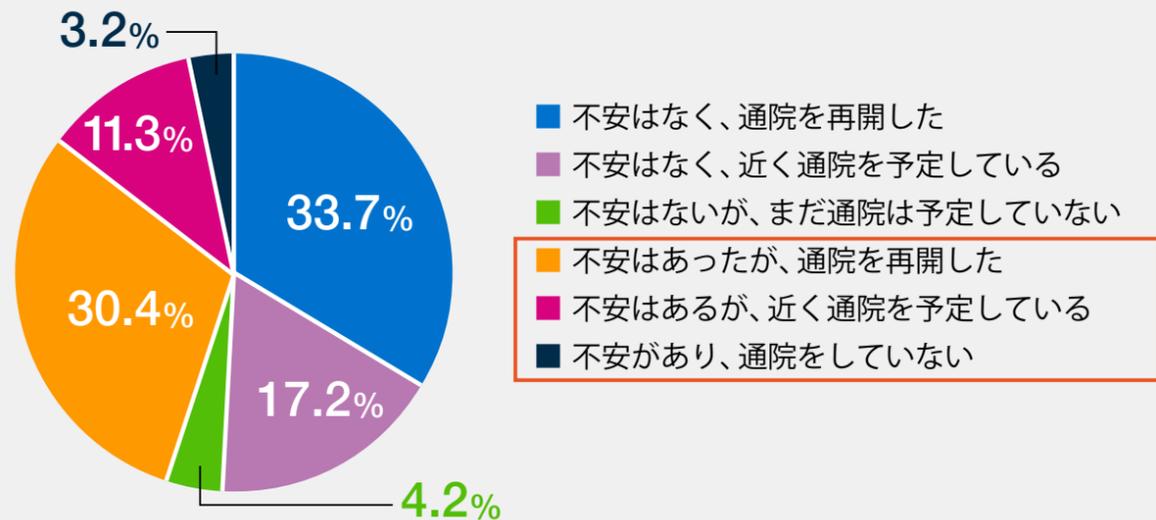
life. to the fullest.®

Abbott

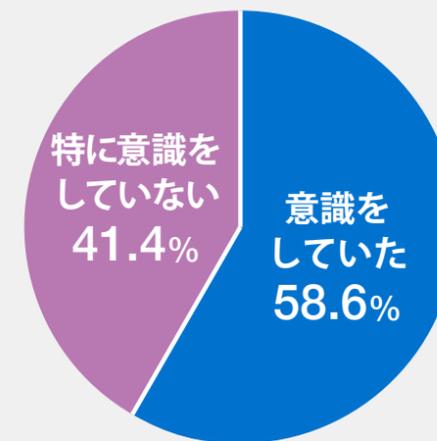
FreeStyle **リブレ** による「見える化」が糖尿病のセルフマネジメントをサポート

新型コロナウイルス感染症が糖尿病を含む生活習慣病患者さんに及ぼす影響

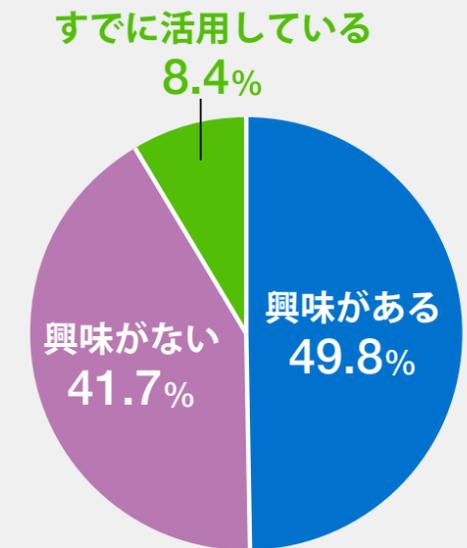
1 緊急事態宣言解除後の通院状況



2 外出自粛期間中の体調管理への意識



3 健康管理ツールへの興味



新型コロナウイルス感染症は通院に関する不安をもたらしている。
一方、自粛期間中は自身の体調管理への意識が高まっており、
自らの行動変容に前向きになっていることがうかがえる。



【対象・方法】生活習慣病患者309名(内訳: 高血圧103名、2型糖尿病103名、高脂血症103名)を対象としてオンライン調査を実施した

【各設問の詳細】① 緊急事態宣言が解除されてからの通院状況について回答してください。

② 自粛期間中、普段よりもご自身の体調管理を意識していましたか？ ③ 自身の健康管理をサポートしてくれるツール*に興味はありますか？

新型コロナウイルスがもたらした健康への気になる影響(血糖トレンド委員会*調べ) *企画 アボットジャパン合同会社



life. to the fullest.®

Abbott